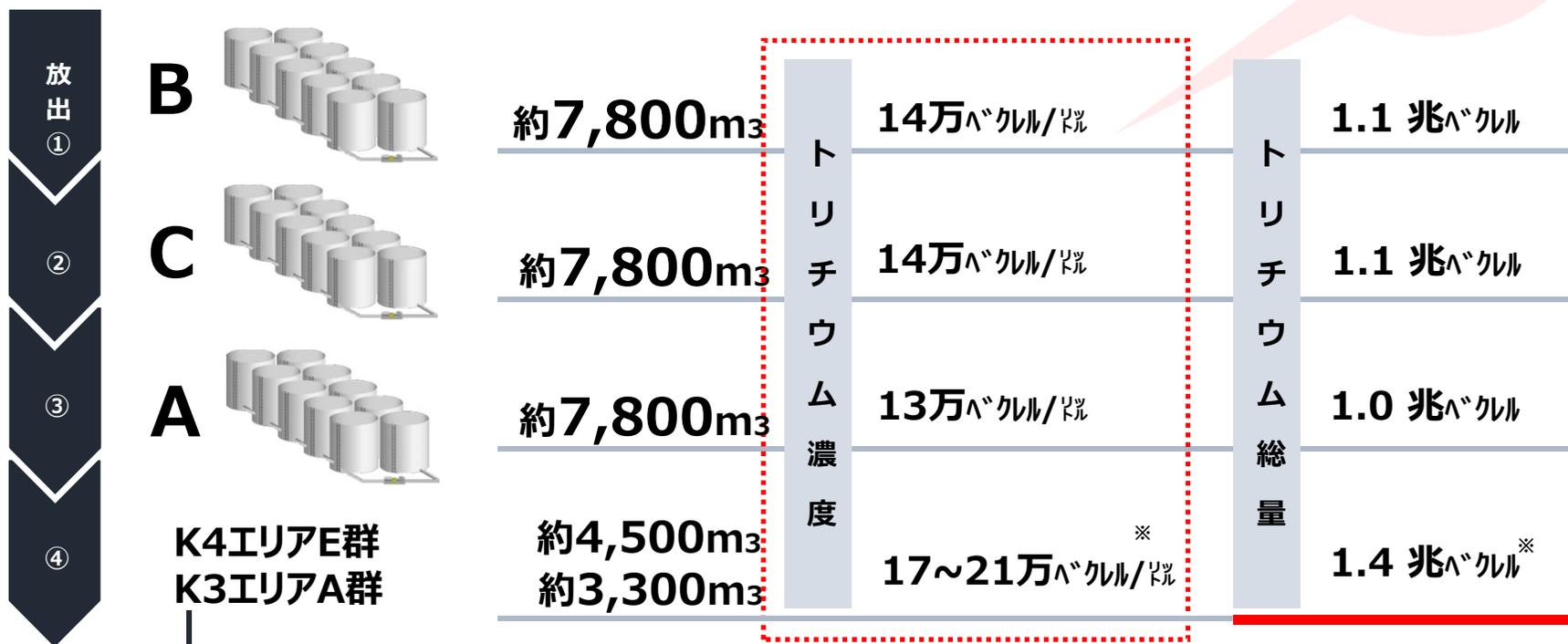


## 2023年度の放出計画

測定・確認用設備であるK4エリアA～C群のタンクに貯留しているALPS処理水から放出します。  
中でも、国際原子力機関（IAEA）が分析したB群を最初に放出します。

海水で700倍以上に  
希釈することで  
1,500ベクレル/ℓ未満に



第1回放出後、空になったK4エリアB群に移送

2023年度放出 トリチウム総量 約 **5兆**ベクレル

年間放出基準 トリチウム総量 **22兆**ベクレル

※タンク群平均、2023年7月1日時点までの減衰を考慮した評価値

## 2023年度の放出実績

ALPS処理水の海洋放出の状況は以下の通りです。

測定・確認用設備の分析日時	タンク群	トリチウム濃度	トリチウム以外の放射性物質の濃度	放出開始	放出終了	放出中の希釈倍率	希釈後のトリチウム濃度 <sup>※1</sup>	処理水の放出量	トリチウム総量
2023年6月22日	B群	14万ベクレル/ℓ	告示濃度比総和 規制基準 0.28 < 1	2023年8月24日	2023年9月11日	約800倍	160～200 ベクレル/ℓ	7,788m <sup>3</sup>	約1.1兆ベクレル
2023年9月21日	C群	14万ベクレル/ℓ	告示濃度比総和 規制基準 0.25 < 1	2023年10月5日	2023年10月23日	約800倍	150～170 ベクレル/ℓ	7,810m <sup>3</sup>	約1.1兆ベクレル
2023年10月19日	A群	13万ベクレル/ℓ	告示濃度比総和 規制基準 0.25 < 1	2023年11月2日	2023年11月20日	約800倍	150～180 ベクレル/ℓ	7,753m <sup>3</sup>	約1.0兆ベクレル

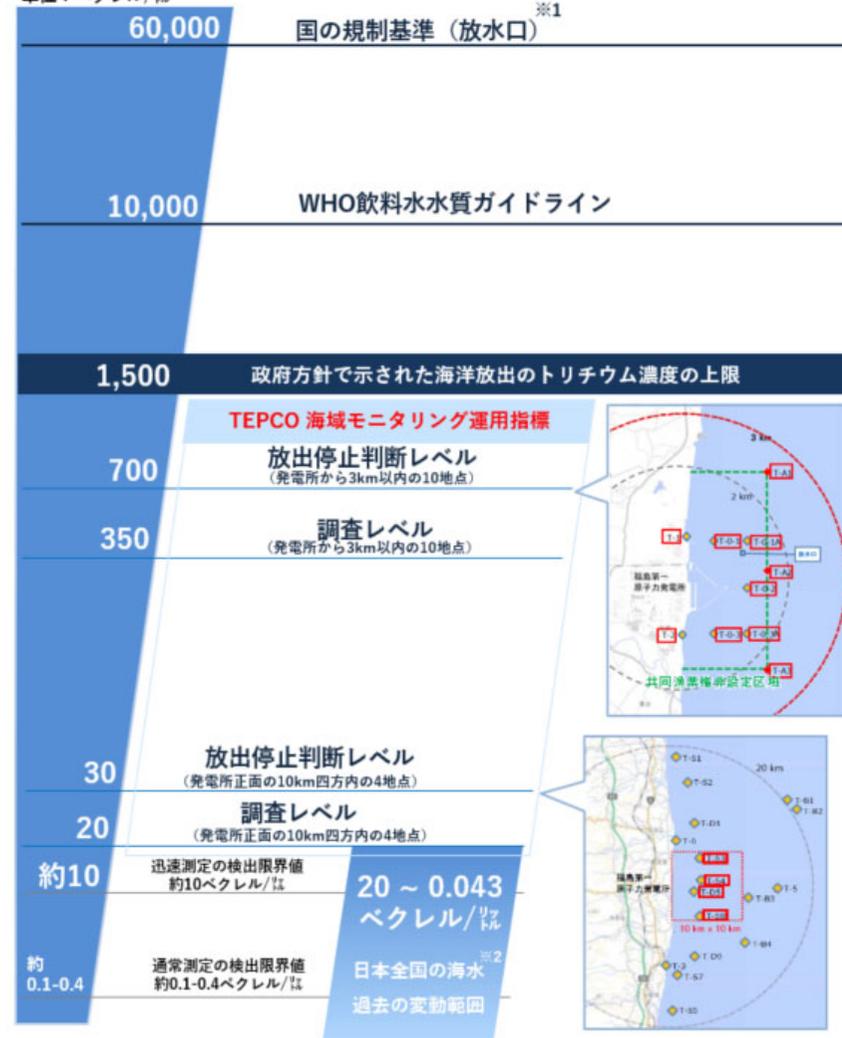
※1 海水配管にて採取した試料のトリチウム濃度です。

## 海域モニタリング結果（海水トリチウム濃度）

	エリア	測定点	迅速測定結果
第1回	発電所から3 km以内	10地点	検出限界値未満～最大10ベクレル/ℓ
	発電所正面の10 km四方内	4地点	検出限界値未満
第2回	発電所から3 km以内	10地点	検出限界値未満～最大22ベクレル/ℓ
	発電所正面の10 km四方内	4地点	検出限界値未満
第3回	発電所から3 km以内	10地点	検出限界値未満～最大11ベクレル/ℓ
	発電所正面の10 km四方内	4地点	検出限界値未満

## 【参考】海水のトリチウム濃度比較

単位：ベクレル/ℓ



※1：原子力施設の放水口から出る水を、毎日、その濃度で約2ℓ飲み続けた場合、一年間で1ミリシーベルトの被ばくとなる濃度から定められた基準  
 ※2：出典「日本の環境放射能と放射線」（期間：2019/4～2022/3）